

事 務 連 絡  
平成 28 年 2 月 26 日

各 検 疫 所 御 中

健 康 局 結 核 感 染 症 課

医 薬 ・ 生 活 衛 生 局 生 活 衛 生 ・ 食 品 安 全 部  
企 画 情 報 課 検 疫 所 業 務 管 理 室

#### ジカウイルス感染症への検疫対応について

平成 28 年 2 月 25 日、WHO の小頭症及び神経障害の集団発生に関する国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態宣言後、初めてとなるジカウイルス感染症患者（輸入症例）が日本で確認されたところです。

このことから、中南米に渡航される方への注意喚起の一層の徹底を図ることとし、別添 1 及び 2 をポスターとして掲示するとともに、リーフレットとして設置の上、持ち帰るよう呼び掛けるなどし、出国者に対する注意喚起及び帰国・入国者に対する自己申告を促すよう、ご対応方よろしくお願いいたします。

別添 1 「中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行（出国用）」

別添 2 「中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行（入国用）」

# 中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行

## 特に妊婦及び妊娠の可能性のある方は ご注意ください

### 【症状】

主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。これらの症状は軽く、通常、2～7日続きます。

### 【治療等】

対症療法となります。通常は比較的症状が軽く、特別な治療を必要としません。

### 【予防対策】

流行地域に渡航される際は、蚊に刺されないように注意してください。

### 【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外(米領サモア、マーシャル諸島、サモア、トンガ、カーボベルデ及びタイ)でも発生しています。



※平成28年2月24日現在 中南米における流行地域

### 【妊婦及び妊娠の可能性のある方へ】

近年、ブラジルにおいて小頭症の新生児が増えており、ジカウイルスとの関連が示唆されています。このため、妊婦の方及び妊娠の可能性のある方は流行地域への渡航を控えた方が良いとされています。やむを得ず渡航をする場合は、特に蚊に刺されないように注意してください。

### 【流行地域に渡航される方へ】

#### 【渡航中】

流行地域では、長袖、長ズボンの着用や、蚊の忌避剤(虫除けスプレー等)の使用などにより、蚊に刺されないように注意してください。

#### 【帰国時】

蚊にさされたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。

検疫所ホームページ FORTH  
<http://www.forth.go.jp>

FORTH

# 中南米地域で「ジカウイルス感染症」が流行

## 流行地域からの帰国者で心配な方は 検疫官に申し出て下さい

### 【症状】

主として軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、斑丘疹、結膜炎、疲労感、倦怠感などを呈します。これらの症状は軽く、通常、2～7日続きます。

### 【治療等】

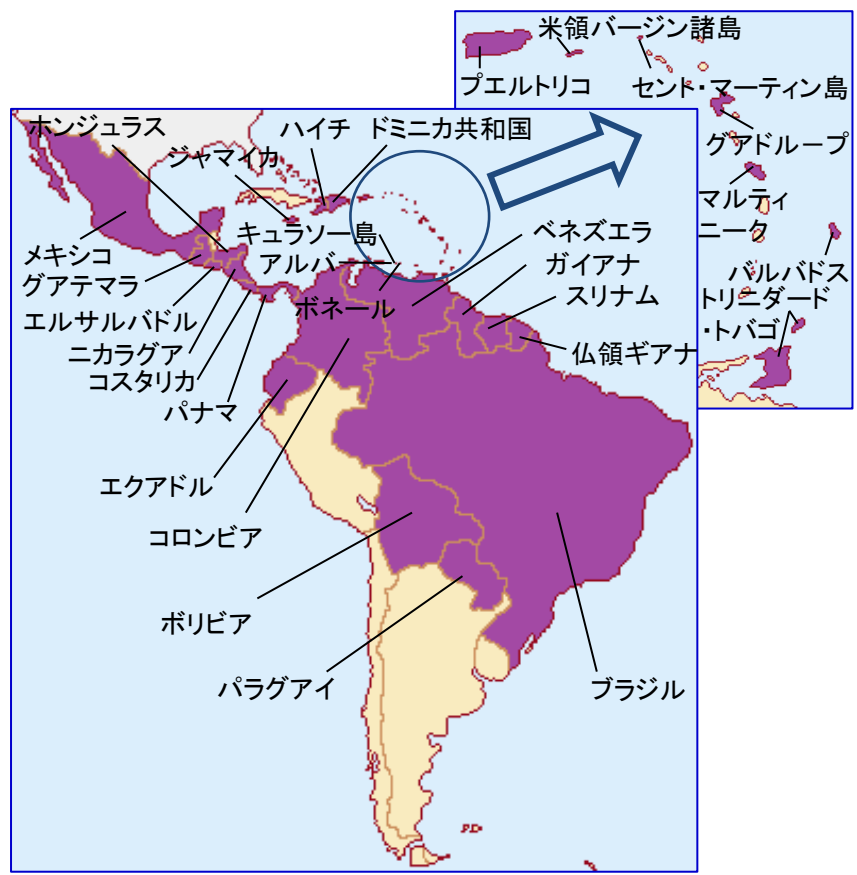
対症療法となります。通常は比較的軽微な症状が軽く、特別な治療を必要としません。

### 【予防対策】

流行地域に渡航される際は、長袖、長ズボンの着用や、蚊の忌避剤(虫除けスプレー等)の使用などにより、蚊に刺されないように注意してください。

### 【流行地域】

アフリカ、中南米、アジア太平洋地域で発生がありますが、近年は中南米で流行が拡大しています。また、中南米以外(米領サモア、マーシャル諸島、サモア、トンガ、カーボベルデ及びタイ)でも発生しています。



※平成28年2月24日現在 中南米における流行地域

### 【流行地域に渡航された方へ】

蚊にさされたことだけで過分に心配する必要はありませんが、心配なことや発熱等の症状のある方は、検疫所にご相談ください。

また、性交渉による感染リスクも指摘されており、流行地域から帰国した男性で、妊娠中のパートナーがいる場合は、パートナーの妊娠期間中は、症状の有無にかかわらず、性行為の際にコンドームを使用してください。

なお、心配なことや発熱等の症状が出た方は、最寄りの保健所等にご相談ください。

検疫所ホームページ FORTH  
<http://www.forth.go.jp>

